

呼吸器内科

【原著論文】

- 1) Miwa M, Ohmori K, Fukuda K, Kohyama K, Kanoh N, Iwasaki Y, Nakajima N, Yamaguchi S, Ichiwata T, Nagao K, Miwa M, Watanabe K: Control of transepithelial electrical resistance on Primary cultured airway tracheal cells excised from guinea pig. *Proceeding of airway secretion research* (11): 1-4, 2009.
- 2) Ishii H, Trapnell B, Tazawa R, Inoue Y, Akira M, Kogure Y, Tomii K, Takeda T, Hojo M, Ichiwata T, Goto H, Nakata K: Comparative study of High-Resolution CT findings between autoimmune and secondary pulmonary alveolar proteinosis. *Chest* 136(11): 1348-1355, 2009.
- 3) Sagara H, Yukawa T, Kashima R, Okada T, Fukuda T: Effects of pranlukast hydrate on airway hyperresponsiveness in non-asthmatic patients with Japanese Cedar Pollinosis. *Allergol Int* 58(2): 277-287, 2009.
- 4) Sagara H, Okayama Y, Okumura S, Yuki K, Sakaki T, Watanabe N, Fueki M, Sugiyama K, Takeda K, Fukuda T, Saito H, Ra C: FcεRI-mediated thymic stromal lymphopoietin production by IL-4-primed human mast cells. *Eur Respir J* 34(2): 425-435, 2009.
- 5) Sagara H, Yoshioka M, Takahashi F, Harada N, Nishio K, Mori A, Ushio H, Shimizu K, Okada T, Ota M, Ito YM, Nagashima O, Atsuta R, Suzuki T, Fukuda T, Fukuchi Y, Takahashi K: Role of multidrug resistance-associated protein 1 in the pathogenesis of allergic airway inflammation. *Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol* 296(1): 30-36, 2009.
- 6) 一和多俊男, 時田心悟, 相馬亮介, 菊池清和, 赤坂圭一, 小島寿郎, 高山賢哉, 阿部篤朗, 藤原寛樹, 長尾光修: 肺胞蛋白症に対する片側全肺洗浄の経験と洗浄手順を選択するためのアルゴリズムについて. *日本呼吸器学会雑誌* 47(3): 185-195, 2009.
- 7) 三輪正人, 狩野信和, 岩崎洋子, 中島規幸, 山口晋太郎, 廣瀬荘, 阿部実恵子, 三輪真由美, 渡辺建介, 高山賢哉, 一和多俊男, 長尾光修: 初代培養気管上皮細胞の上皮抵抗に対する酸, およびプロテインヒバターの効果. *日本気管食道科学会会報* 60(3): 276-280, 2009.

【症例報告】

- 1) Uchiyama M, Nagao T, Hattori A, Fujii T, Ichiwata T, Nakaat K, Hayashi T: Pulmonary alveolar proteinosis in a patients with Bechet's disease. *Resoirology* 14: 305-308, 2009.
- 2) Uchiyama M, Hattori A, Tanaka T, Miyaji T, Matsuki Y, Fujii T, Ichiwata T, Hayashi T, Ikeda T: Acute idiopathic thrombocytopenic purpura complicated with diffuse alveolar hemorrhage in an elderly patient. *Internal Medicine* 48: 1449-1452, 2009.
- 3) Ikegami G, Abe T, Akasaka K, Kouyama A, Souma R, Matsuo T, Kouyama K, Fujiwara H, Ichiwata T, Nagao K: Bilateral phrenic nerve paralysis manifested by orthopnea for 6 months in a patient with neuralgic amyotrophy. *Internal Medicine* 48(24): 2123-2127, 2009.

【総説等】

- 1) 一和多俊男: 肺にやさしい呼吸管理邦とは ; 最近のエビデンスから一圧損傷などから肺を守る. *診療と治療* 97(1): 148-152, 2009.
- 2) 一和多俊男, 赤坂圭一: 呼吸性・代謝性アルカローシス. *呼吸器&循環器ケア* 9(3): 23-27, 2009.

- 3) 一和多俊男: COPD 治療の包括的管理－薬物療法と非薬物療法の癒合－. MB Med Reha (108): 7-12, 2009.
- 4) 相良博典: アレルギー性下気道炎症 (気管支喘息) の病態生理. アレルギーの臨床 29(1): 17-23, 2009.
- 5) 相良博典: 喘息治療における新規アプローチ-抗体療法への期待. Progress in Medicine 29: 57-60, 2009.
- 6) 金澤實, 相良博典, 斉藤武文, 周東寛: COPD の診断と治療. メディカル朝日別冊 38: 1-7, 2009.
- 7) 相良博典: 気管支喘息. 漢方養生法 :82-83, 2009.
- 8) 足立満, 相良博典, Lotvall J: 閉塞性肺疾患におけるサルメテロール/フルチカゾンプロピオン酸エステル配合剤(SFC)の可能性. International Review of Asthma 11(2): 6-22, 2009.
- 9) 相良博典: 気管支喘息の薬物療法. 呼吸と循環 57(6): 549-555, 2009.
- 10) 相良博典, 湯川龍雄, 黒沢元博: 抗アレルギー薬の歴史-ロイコトリエン受容体拮抗薬の抗炎症薬としての歴史と今後の展望-. 喘息 22(2): 199-204, 2009.
- 11) 足立満, 相良博典, 金廣有彦, Bateman ED: ICS/LABA 配合剤による喘息治療の新たな展開と可能性. 新薬と臨床 58(12): 130-133, 2009.
- 12) 相良博典: アレルギー性下気道炎症 (気管支喘息) の病態生理. アレルギーの臨床 29(12): 1092-1097, 2009.
- 13) 前田純子, 東田千絵, 黒須明, 山内忍, 一杉正仁, 長井敏明, 相良博典, 徳留省悟: 火災により発生した有毒ガスの人体への影響. 建築防災 383: 19-26, 2009.

【学術書】

- 1) 一和多俊男: 薬物による呼吸筋不全. 呼吸器症候群 (第2版). pp.472-476, 2009.
- 2) 一和多俊男: 運動負荷試験. 呼吸理学療法 第2版. 三輪書店. pp.175-186, 2009.
- 3) 一和多俊男. 塩谷隆信・高橋仁美編, 現場の疑問に答える呼吸リハビリ 徹底攻略Q&A. 中外出版. pp.109-100, 2009.
- 4) 一和多俊男, 長尾光修: 間質性肺炎 急性間質性肺炎. 松岡健編, 呼吸器疾患ガイドラインー最新の診療指針ー改訂版. 総合医学社. pp.106-109, 2009.
- 5) 一和多俊男: COPD 治療の包括的管理－薬物療法と非薬物療法の癒合－. MB Med Reha. pp.7-12.
- 6) 一和多俊男: 微小重力環境における呼吸循環機能. 酸素ダイナミックス研究会編, からだと酸素事典. 朝倉書店. pp.555-558, 2009.
- 7) 相良博典: 気道リモデリングの治療法. 福田健編, よくわかる気管支喘息. 永井書店. pp.101-110, 2009.
- 8) Sagara H, Pawankar R: Investigative Bronchoprovocation and Bronchoscopy in Patients with Bronchial Asthma. Pawankar R, Holgate S, Rosenwasser L ed, Allergy Frontiers: Diagnosis and Health Economics. Springer. pp.127-139, 2009.
- 9) 相良博典: 気管支喘息の増悪因子. 足立満編, インフォームドコンセントのための図説シリーズ喘息改訂3版. 医薬ジャーナル社. pp.12-15, 2009.
- 10) 相良博典: 血清病. 山口徹, 北原光夫, 福井次矢編, 今日の診療指針2009. 医学書院. pp.596-597, 2009.

【研究報告等】

- 1) 一和多俊男: 肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断, 資料, 管理の標準化と指針の確立. 平成21

年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業報告. 2009.

- 2) 赤坂圭一: 薬物トランスポーター ABCG2 の遺伝子多型にもとづく分子標的治療薬 Gefitinib の治療効果・有害事象発病予測. 平成 20 年度「獨協医科大学研究助成金」研究成果報告会. 2009.

【学会・研究会発表】

- 1) 一和多俊男: 呼吸リハビリテーションに役立つ基礎知識. 第 9 回埼玉県包括的リハビリテーション研究会, 川崎市, 2009-2-7.
- 2) 落合亜貴子, 赤坂圭一, 高山賢哉, 藤原寛樹, 一和多俊男, 長尾光修: 著名な低酸素血症を呈した肝肺症候群の 1 例. 第 11 回関東 COPD 研究会, さいたま市, 2009-2-27.
- 3) 一和多俊男: 約 26 年間の重症喘息患者さんの診療から学んだこと. 久喜医師会学術講演会, 久喜市, 2009-3-17.
- 4) 一和多俊男: 呼吸リハビリテーションに役立つ基礎知識. 第 73 回横浜市南部胸部疾患談話会, 横浜市, 2009-5-27.
- 5) 一和多俊男: 外来でできる呼吸リハビリテーション. 第 9 回和歌山 COPD 研究会学術講演, 和歌山市, 2009-6-25.
- 6) 一和多俊男: 外来でできる呼吸リハビリテーション. 第 9 回 STRK, 草加市, 2009-6-25.
- 7) 相良博典: 新規薬剤・抗 IgE 抗体の可能性と期待. 「イブニングシンポジウム 1 重症喘息における抗体医薬を中心としたテーラーメイド医療を考える」. 第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-4.
- 8) 相良博典: 診断に苦慮する遷延性・慢性咳嗽の実態. 「教育セミナー 8 遷延性・慢性咳嗽の実態」. 第 21 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 岐阜市, 2009-6-5.
- 9) 相良博典: 気管支喘息患者の咳嗽および慢性咳嗽に対する漢方薬の応用. 「ランチョンセミナー 19」. 第 49 回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2009-6-13.
- 10) 相良博典: 気道炎症とリモデリング: Physiologic correlates. 「シンポジウム 12 重症難治性喘息における最近の進歩」. 第 49 回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2009-6-14.
- 11) 笛木真, 橋井敦子, 秋元一三, 笛木直人, 太田真弓, 岡田壮令, 牧野荘平, 福田健, 相良博典: 培養気道上皮細胞および平滑筋細胞における TIEG 発現におよぼす神経ペプチドの影響. アレルギー・好酸球研究会 2009, 東京, 2009-6-20.
- 12) 岡山吉道, 相良博典, 笛木真, 佐々木朋美, 杉山公美弥, 福田健, 斉藤博久, 羅智靖: IL-4 によるヒトマスト細胞における FcεRI 依存性 Thymic Stromal Lymphopoietin 発現の増強. 第 19 回国際喘息学会日本北アジア部会, 東京, 2009-7-11.
- 13) 笛木直人, 相良博典, 笛木真, 橋井敦子, 太田真弓, 岡田壮令, 杉山公美弥, 牧野荘平, 福田健: Collagen production from activated epithelial cells regulate airway remodeling. 第 19 回国際喘息学会日本北アジア部会, 東京, 2009-7-11.
- 14) 一和多俊男: COPD 患者における臥位ち坐位の肺機能・運動負荷試験の比較. 第 4 回呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム, 奈良市, 2009-7-26.
- 15) Sagara H: Diagnostic criteria for early stage of Asthma in Japan. European Respiratory Society Annual Meeting 2009, Vienna, 2009-9-13.
- 16) Fueki M, Sagara H, Akimoto K, Fueki N, Ota M, Okada T, Sugiyama K, Masuda H, Makino S, Fukuda T: Stimulation with substance p decreases Smad 7 production in cultured airway smooth muscle cells. European Respiratory Society Annual Meeting 2009, Vienna, 2009-9-13.
- 17) 相良博典: 成人喘息治療における最近の見解. 第 14 回東京アレルギーシンポジウム, 東京, 2009-10-3.
- 18) 池上岳, 木田寧々, 田中真有子, 和田昌教, 佐藤英幸, 赤坂圭一, 阿部篤朗, 高山賢哉, 藤原寛樹, 一

和多俊男, 相良博典, 深井隆太, 鈴木司: 肺抗酸菌症を合併し 診断に苦慮した肺腺癌の1症例. 第130回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 東京, 2009-10-3.

- 19) 相良博典: 気管支喘息の基本病態に与える肥満症の関係「ランチョンセミナー6」. 第30回日本肥満学会, 浜松市, 2009-10-9.
- 20) 相良博典: 重症度からみた喘息コントロール. 「イブニングシンポジウム5喘息薬物治療—吸入ステロイド単独でどこまでコントロールは可能か?」. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009-10-30.
- 21) 新実彰男, 大林浩幸, 相良博典, 山内広平, 秋山一男, 高橋清, 足立満: 遷延性・慢性咳嗽の原因疾患に関する多施設調査. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009-10-30.
- 22) 高山賢哉, 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 藤原寛樹, 相良博典, 黒沢元博: 遺伝子検査による気管支喘息とCOPDの病態差. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009-10-31.
- 23) 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐 康, 高山賢哉, 藤原寛樹, 相良博典, 黒沢元博: 遺伝子検査によるone-airway,one disease概念検証の試み. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009-10-31.
- 24) 藤原寛樹, 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐 康, 高山賢哉, 相良博典, 黒沢元博: 遺伝子検査からみたアスピリン喘息の特徴. 第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 秋田市, 2009-10-31.
- 25) 赤坂圭一, 鏑木孝之, 一和多俊男, 相良博典, 上田善彦, 長尾光修, 井村穰二, 今井康雄: ABCG2 遺伝子多型とGefitinibによる有害事象の相関についての検討. 第50回日本肺癌学会総会, 東京, 2009-11-12.
- 26) 相良博典: 難治性喘息に対する抗IgE抗体の期待. 「教育セミナー5」. 第46回日本小児アレルギー学会, 福岡市, 2009-12-6.

【公開講座】

- 1) 相良博典: アレルギー疾患の検査法と治療総論. 日本アレルギー学会専門医セミナー, 東京, 2009-8-30.
- 2) 相良博典: 日常生活におけるアレルギー対策. 平成21年度獨協大学市民公開講座, 草加, 2009-11-12.

【新聞記事・書評等】

- 1) 相良博典: ぜんそく. 朝日新聞夕刊, 朝日新聞社, 2009-7-27.
- 2) 相良博典監修: ぜんそく患者さんのための治療サポート-気道探検物語-. アストラゼネカ株式会社, 2009-8.
- 3) 金澤實, 小山信一郎, 青島正大, 相良博典: UPLIFTがCOPD診療に与えたインパクト. Medical Tribune, メディカルトリビューン社, 2009-9-10.
- 4) 相良博典, 相馬亮介: 喘息を早期発見. 埼玉新聞, 埼玉新聞社, 2009-12-13.
- 5) 新実彰男, 宮川武彦, 相良博典: 今後の喘息治療とアズマネックスへの期待. One Airway, one diseaseの観点から見たアズマネックスへの期待. Medical Tribune, メディカルトリビューン社, 2009-12-17.